

## 牛群検定通信 No98

～ 年間子牛生産状況をパワーアップ！ ～

この6月から、検定成績表の裏面に表示している年間子牛生産状況の右半分  
に新情報を追加します。概略は以下の通りですので、どうぞご活用ください。

### 1 年間出生実績（成績表裏面、年間子牛生産情報の右上）

#### 1) 出生の数え方

みなさんの牧場で生まれた子牛を品種別に数えたものです。従来と大きく異なるのは、出生した子牛の個体識別番号から品種や性別を識別しているところです。個体識別番号によるものなので、極めて正確な値となります。

#### 2) 性 比

性選別精液の普及により性比は変えられるものとなりました。性選別精液が使われるほど雌子牛の割合は増えます。

#### 3) 正確な交雑種生産率（F 1 率）

未経産加入していない牛でも初産分娩時の産子から交雑種等を判定できるので、交雑種生産率（F 1 率）を正確に把握することが可能となりました。

#### 4) E T

E Tによる産子頭数を表示します。もちろん、E Tによる黒毛和種生産についても産次別に表示します。

## 2 最終授精等（成績表裏面、年間子牛生産情報の中段）

### 1) シミュレーション

以前であれば、「乳用種を授精した頭数の半分が雌子牛」と、頭の中で簡単に後継牛の予測頭数をシミュレーションできました。しかし、近年の酪農では性選別精液をはじめとする多様な繁殖が可能となっており、どれくらいの雌が生まれるか、簡単にはシミュレーションできません。本表は、現在の最終授精が全部受胎したと仮定したときに生産を期待できる各種頭数のシミュレーションとなります。性比について、通常精液は♀：♂＝48：52で計算、性選別精液は90：10で計算しています。

## 3 月別分娩予定頭数明細（成績表裏面、年間子牛生産情報の下段）

### 1) スケジュール

成績表1枚目の左下に標記されている月別分娩予定頭数の明細です。いつ頃に何頭の分娩があるか、品種別に整理してあります。

### 2) 推定初産分娩

初産分娩は、体格的にも小さいことから難産になりやすいと言われていることから、分娩立会が推奨されています。ところが、未經産牛が検定加入されていないことが多く、従来より初産分娩を表示できていません。そこで各農家に在籍する未經産牛について、個体識別番号から分娩予定日を推定して表示したものが推定初産分娩です。個体識別番号から生年月日を取得し、牛群検定成績から各農家の平均初産月齢を加算していますので、目安として利用してください。